

園で行っている新型コロナウイルス感染症予防対策

登園前に検温。子どもと家族の体調を確認して「けんこうかんさつカード」に記載します。

毎日、担任の先生に提出します。



入口では、検温とアルコール消毒を行います。

保育室では、常時換気をしています。



掃除用具のところにも消毒セットを置いています。

トイレの掃除や消毒は、子ども達が降園後、1日1回行っています。



昼食前に手洗い、アルコール消毒を行います。共通のものを使用する時もアルコール消毒をしています。

※ハンドソープや消毒液の刺激が強い子どもは、保護者と担任の先生が相談の上、その子どもに合うハンドソープや消毒液を持参しています。

(幼稚園ではキレイキレイやビオレのハンドソープを使っています。)



昼食時、手作りの仕切りを使用しています。



使用后、仕切りは消毒して部屋干ししています。

※グリーンステージになり、床の消毒や1時間ごとのトイレ消毒は、現在は解除されています。

マスクについて



はずす時は、園外や園庭で遊ぶときと、飲食をする時です。昼食のおかわりの際はマスクを着用して行きます。

忘れた・汚した・破れた場合は、子どもが休養室の百井先生のところへ行き、キッズ用の不織布マスクをもらいます。

※後日、新しい不織布マスクを寄付していただけると助かります。

休養室



室内には、可愛いベッドが2台あります。しんどい時、怪我をした時など、不安になっている子ども達が安心できる空間づくりをされています。



休養室にくる子ども達の中で一番多いものは「すり傷」で、

その次は、大人から見たら怪我でもない「薄皮のめくれ」です。そのような時は、気持ち

の切り替えが大切、とのことで、絆創膏をあえて貼って帰します。

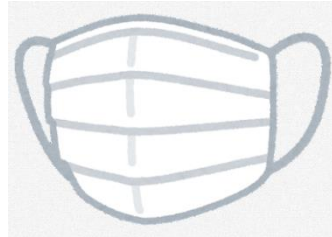
年長組は小学校での対応も見据えて、軽すぎるものは絆創膏を貼らない、と百井先生はおっしゃっていました。



消毒液について



幼稚園では、器具の消毒は「パストリーゼ」、手の消毒は「ハンドスキンウォッシュ」を使用しています。



予備のマスクは休養室で保管しています。

百井先生から、メッセージを頂きました。

「誰かの助けになる仕事」を目指し、看護師になられて17年。千里山グレース幼稚園に来られて7年目になります。

この7年間は、あっという間だったそうです。

毎年、新年度が始まってすぐに、AED やエピペンなど、緊急時の対応を職員間で使う練習を行っています。

【新型コロナウイルス感染症への対策について】

幼稚園全体の対策は「みんなが共通した感染対策ができるようにすること」です。

百井先生個人の対策は「睡眠をしっかりとる、ご飯をしっかりと食べる、軽い運動をする、

そして手洗いです」

【休養室の対策について】

「緊急時以外は、なるべく少ない人数で、滞在時間が短くなるように気を付けています。

いろいろな学年・子どもが来てくれるので、私からうつさないように『一処置一手洗い』^{いちしょちいちてあらい}をするようにしています。」

「保護者のみなさんには、本当にこの2年間はたくさんのご協力をいただき、感謝しかありません。これからも、子ども達の成長を一緒に見守らせていただきたいと思います」

子ども達が安心して過ごすことができる環境を作っておられる、縁の下の力持ち、だと強く感じました。

百井先生、本当にありがとうございます。